

## 離島振興法について

**議員** 平成24年度末で失効する離島振興法について、全国離島振興協議会理事を務めている市長の改正あるいは延長へ向けた見解をたずねる。

**市長** 離島振興法の延長に向けた取り組みとしては、全国離島振興協議会の理事会でも国会議員や関係省庁の方々に積極的に要望活動を行っていている。まだまだ離島ゆえの格差の助成をしていく必要があるわけで、離島振興法は当然延長されるものと信じているし、今後積極的に延長に向けて、いろいろな方の協力をいただきながら働きかけていきたいと考えている。

## 空き地・空き家の適正管理について

**議員** この夏、民有地の空き地・民家の空き家が管理不良のため、隣人や地域等が困っているという事

多くの相談に遭遇した。高齢化の進展で、今後、ますます増加すると推測する。

「安全・安心まちづくり協働推進条例」での対応に限界を感じる。実効ある条文へ改正を検討してはどうか。できないなら、管理不良な空き地等について、行政がもっと介入しやすくなるよう「適正管理条例」を制定してはどうか。

**市長** このような事例に対応するため、顧問弁護士に法的な区分について相談するとともに、他市の先進事例も参考にしながら、条例改正あるいは管理条例の制定も含めて検討していきたい。



## 学校施設の防災機能の向上について

**議員** 学校の避難施設としての機能整備の実態把握はどコマでなされているのか、現状と調査結果をたずねる。

**教育長** 本年6月に国立教育政策研究所からの調査依頼があった。避難施設の状態は、市内の小・中学校28校と幼稚園1園が避難所として指定されている。防災機能については、体育館を保有している学校23校中、トイレは、体育館内に21校、隣接して2校に設置されている。また、屋外から使用できるトイレは20校、飲料水を確保する設備は6校にある。しかし、自家用発電設備、非常用の通信装置及び学校敷地内の防災倉庫については整備していないのが現状である。今後、整備について検討していきたい。

ほかに★公共施設の管理★地域エネルギー政策について質問しました。

## 日本共産党

質問者 樋之津倫子  
所属議員 原田毅

### 子どもたちの健やかな成長を願って

の心を育てる場でなければならないと考えている。そのため、力を用いた解決ではなく、毅然とした指導が重要だと思っている。子どもたちの状況は理解しながらも、事前に提示したことは、ぶれないで公正に指導するという姿勢が大切であると考

### 安全・安心の保育・教育環境づくりを求めて

**議員** 岡山県教育委員会は、県内の小・中・高校での生徒の暴力行為、小学校の不登校の発生率が全国最悪となった昨年度の児童生徒問題行動調査について、市町村別の結果を公表した。そして、警察官4人を雇用し、対策に乗り出すとしているが、学校という教育の場は、あくまでも子どもを育てる場でなければならぬ。問題行動を解決するため、力を用いた解決はなじまないと思うが、どうか。

**議員** ①暑さ対策として、安全・安心の学習・保育環境にするためには、空調施設は欠かせない。教育施設・保育施設にすべて設置することが望ましいが、まず、保育所の保育室・調理場に空調施設を設置すべきだと考えるが、どうか。

②保育所・教育施設におけるトイレの洋式化については、これまでも指摘され、既に改善されたところもあるが、残された箇所について早期に充実を図るべきだと考えるが、どうか。